

## 税制調査会（第6回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：平成28年11月2日（水）12時17分～

場 所：財務省第3特別会議室（本庁舎4階）

### ○中里会長

今日は、いわゆる起草会合という形で、個人所得課税と国際課税に関する議論の取りまとめをどのように行うかについて議論を行いました。

各テーマに関する議論の概略ですが、まず個人所得課税については、配偶者控除の見直しに当たり、働き方の選択に対して中立的な税制を構築する観点から見直す必要があるとの方向で各委員の意見が集約されつつあるように思います。

見直しに当たっては、財源調達機能が個人所得課税の重要な役割であることを踏まえ、税収中立を維持する必要性、あるいは担税力の減殺を調整する必要性や、所得再分配機能の回復の観点から、高所得者にまで税負担の軽減効果を及ぼす必要は必ずしもないのではないかという意見や、そのような必要は乏しいのではないかという意見が多かったように思いますが、具体的な見直しの案については、委員からは実に様々な意見が出てきたという状況でした。

これに加えて一部の委員からは、現行の所得控除方式の見直しや働き方の多様化等を踏まえた諸控除の見直しについて引き続き検討すべきではないかという意見や、老後の生活に備えるためのそれぞれ国民の皆様の努力を支援するための公平な税制度の構築について議論を始めるべきではないかなどといった意見がありました。

国際課税についてですが、こちらは田近委員に司会をさせていただいて進行しました。

まとめだけこちらで申しますと、今後、日本の国際課税制度改革を進めていく上では「BEPSプロジェクト」最終報告書の基本的な考え方等を踏まえ、租税回避をより効果的に防止するという観点と、日本企業の海外展開支援や企業の事務負担への配慮という観点の二つのバランスをとるべきであります。このような意見が多かったように思います。

また、個別の制度に関する論点のうち、外国子会社合算税制の見直しにつきましても、納税者の事務負担に留意しつつ、租税回避のリスクを外国子会社全体の税負担内容と活動の態様により判断する現行の方法から、外国子会社の所得の内容により判断するアプローチへと転換することが妥当ではないかという意見が多かったように思います。これに加えて一部の委員からは、制度改革に加えて執行面の対応として、経済取引の国際化等に伴う調査事務の複雑化、困難化や、申告件数の増加等により、今後、国際課税を中心に税務当局の執行体制の充実やモニタリング機能の増強、このようなことが必要であるとの意見がありました。

次回も本日の議論に引き続き、今日と同じ非公開という形で起草会合の2回目を開催し、取りまとめに向けた議論を進めていきたいと考えています。

私からは以上ですが、田近委員、何かありますか。

○田近委員

特にありません。

○記者

個人所得課税に関しては今日で取りまとめが終わったという認識でよろしいのでしょうか。

○中里会長

次回も取りまとめに向けた議論を行います。そんな簡単には終わりそうもありません。

○記者

所得税についてお伺いします。配偶者控除について、働き方の選択に対して中立的な税制を構築する観点から見直す必要があるという意見で一致したということですが、これまで出されていたA案、B案、C案などの方向性についてはどのようなまとまりがあったのでしょうか。

○中里会長

起草会合は今日第1回目ですので、とてもそこまでは議論できていません。実に様々な意見が出まして、やはり国民の価値観に根差す論点であるということを経験的に再認識したという感じですね。

○記者

ということは、A案、B案、C案のどれが良いということは、結局、方向性としては出ていないという理解でよろしいのでしょうか。

○中里会長

今日の段階では出ていません。

○記者

個人所得課税で、高所得者の税負担を軽減する効果を出す必要はないのではないかなという意見も出たということなのですが、そのようにするための具体的な方法ということの議論はあったのでしょうか。

○中里会長

それは、税額控除や所得控除に上限をつけるということや、ゼロ税率といったものを以前に議論しました。それについての言及はありましたが、今のところはそこまでです。

○記者

配偶者控除そのものの、例えば、夫の年収が1,000万円以上なら制限をつけるなど、1,000万円という基準は置いておいても、夫側に何かの制限をつけるといったアイデアも一応はあったということなのでしょうか。それとも、控除方式の見直しの中でそれは行っていくというお話なのでしょうか。

○中里会長

今日は特にそのようなことはなく、今までの議論を振り返ったという感じです。

○記者

どうもありがとうございました。

○中里会長

どうもありがとうございました。

[閉会]